

No.	委員 ※敬称略	御意見	事務局からの回答
1	(団体名) 船橋警察署 (氏名) 杵淵 賢二	<p>(1) 令和4年中の交通事故発生状況について</p> <p>船橋警察署管内の交通情勢を俯瞰してみますと、交通事故発生状況については、発生件数は754件(前年比-25件)、負傷者数は872人(前年比-29人)で前年と比べ減少したものの、死者数は3人で前年と横ばいで推移しています。</p> <p>昨年中は、令和3年9月に県警が策定した「千葉県警察交通安全緊急対策アクションプラン」に基づき、「通学路における交通安全の確保」、「飲酒運転の根絶」を対策重点とし、通学時間帯における見守り活動やスクールゾーンにおける違反車両の指導取締りを推進するとともに、飲酒検問を始めとする飲酒運転の検挙活動のほか、関係機関・団体等と連携したキャンペーン等において「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」飲酒運転根絶気運の醸成を図ってきたところですが、小学生の通学中における事故は6件(前年比+2件)発生しているほか、飲酒運転の検挙件数は23件(前年比-1件)に上るなど、市民の皆様が交通安全を実感していただけたとは言い難い情勢です。</p> <p>したがって、令和5年度におきましては、「飲酒運転の根絶」、「通学路をはじめとした歩行者保護「ゼブラ・ストップ」等の徹底」に加え、「高齢者安全対策の強化」と「自転車等の安全利用対策の強化」を交通安全の実現に向けた4つの柱に据えて各種対策を推進してまいります。</p> <p>引き続き、船橋市交通安全対策会議委員の皆様をはじめ、関係機関・団体、市民の皆様と連携しながら、広く交通安全意識の高揚を図ってまいりたいと考えておりますので、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>本市といたしましても、引き続き警察や関係団体等と連携し、各種交通安全に関する取り組みを進めてまいりたいと考えております。</p>
2	(団体名) 船橋東警察署 (氏名) 滝口 英二	<p>(1) 令和4年中の交通事故の発生状況について</p> <p>当署管内の交通情勢については、人身事故の発生件数は408件で前年より47件の減少、負傷者は476人で前年より26人減少といずれも減少傾向にあります。</p> <p>一方で、死亡事故は2件で前年より1件増加し、死者数も2人と、前年より1人増加しています。また、重傷者数は64人で、前年より6人の増加となりました。</p> <p>高齢者の関係する人身事故は145件で、当署管内の人身事故の約3割(約30%)を占めています。</p> <p>自転車の関係する人身事故は122件で、当署管内の人身事故の約3割(約26%)を占めています。</p> <p>歩行者の関係する人身事故は84件で、当署管内の人身事故の約2割(約18%)を占めており、そのうちの約5割(約55%)の歩行者が道路横断中に交通事故に遭っています。</p> <p>千葉県全体では、令和4年中の交通死亡事故は122件で、死者数は124人に上り、全国ワースト4位に位置しており、依然として厳しい情勢であると認識しております。</p> <p>千葉県警では、県下の交通事故の実態を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲酒運転の根絶 ・通学路をはじめとした歩行者保護「ゼブラ・ストップ」等の徹底 ・高齢者安全対策の強化 	<p>貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>本市といたしましても、引き続き警察や関係団体等と連携し、各種交通安全に関する取り組みを進めてまいりたいと考えております。</p>

令和4年度 交通安全対策会議（書面開催）での御意見と回答

No.	委員 ※敬称略	御意見	事務局からの回答															
		<p>・自転車等の安全利用対策の強化</p> <p>を4本柱とした交通事故抑止対策を推進しています。</p> <p>当署でもこの方針に沿って、管内の交通事故実態や、飲酒運転の根絶に向けた広報啓発活動や取締りなどの活動を推進している中においても飲酒運転に起因する事故や検挙される事件が後を絶たない現状、横断歩行者等妨害等違反に対する取締り要望を始めとする住民から寄せられている意見要望等を踏まえた交通事故抑止対策に取り組んでおります。</p> <p>船橋市交通安全対策会議委員の皆様におかれましては、このような交通情勢を御理解いただき、飲酒運転の悲惨さや正しい交通ルールとルールを遵守することの大切さなどについて、各事業所や地域住民の皆様が発信していただき、船橋市全体の交通安全意識の高揚にご協力いただきたいと思います。</p>																
3	<p>(団体名) 船橋市老人クラブ 連合会 (氏名) 渡邊 和雄</p>	<p>スクールガードから自転車利用者についての要望</p> <p>小・中・高生を対象とした交通安全教室を計画的・定期的実施されていることと思います。</p> <p>春休み・夏休み等で解放された時期に、中・高生の歩道での高速走行が見られ非常に危険である。学校での安全教育を徹底していただきたい。</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>いただいた御意見につきましては、船橋市教育委員会に情報共有いたします。</p> <p>また、高校生への周知につきましても、警察等関係機関の協力を仰ぎながら、進めてまいりたいと考えております</p>															
4	<p>(団体名) 船橋市学校教育部 (氏名) 磯野 護</p>	<p>交通事故発生状況</p> <table border="1" data-bbox="626 1052 1418 1178"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>小学校</td> <td>13件</td> <td>中学校</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td></td> <td>16件</td> <td></td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td></td> <td>8件</td> <td></td> <td>1件 (2月1日現在)</td> </tr> </table> <p>やはり小学校の方が多く、飛び出しが約半数である。</p> <p>毎日の学校生活において、子供たちへの声かけ（特に帰りの会）が大切だと考える。</p> <p>また、小学校で行われている交通安全教室、中学校で行われているスケアード・ストレイトで、子供たちの意識が高められればと思う。</p>	令和2年度	小学校	13件	中学校	1件	3年度		16件		5件	4年度		8件		1件 (2月1日現在)	<p>貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>小・中学生の交通事故を1件でも多く減少させるため、交通安全教育の推進について、引き続き御協力のほどよろしく願いいたします。</p>
令和2年度	小学校	13件	中学校	1件														
3年度		16件		5件														
4年度		8件		1件 (2月1日現在)														
5	<p>(団体名) 船橋市道路部 (氏名) 木村 克正</p>	<p>自転車は、身近な移動手段として利用が進む一方で自転車事故は、多く発生している。(減少しない)</p> <p>道路部では、自転車活用推進計画を策定し自転車走行環境の整備を引き続き進めていく。</p> <p>一方、安全教育についても、保育園や小学校だけでなく高齢者向けの教育がますます必要と考える。</p> <p>今後も自転車活用推進・交通安全対策にむけ関係者が連携した横断的な取組が重要と考えます。</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>御指摘いただいたように、自転車による交通事故を減少させるためには、走行環境の整備等のハード面・交通安全教室等のソフト面の両面での取り組みが重要と考えます。</p> <p>引き続き、関係各課と連携し交通安全対策を推進してまいります。</p>															

No.	委員 ※敬称略	御意見	事務局からの回答
6	(団体名) 船橋市都市整備部 (氏名) 竹田 光伸	1. 船橋市の抑止目標は「死者数5人以下、負傷者数1,300人以下」とされており、概ねクリアされているように感じますが、今後の計画を推進していくため、以下について検証・検討が必要ではないでしょうか。 ①コロナ禍における外出自粛による一時的な減少によるものか 本市の施策の成果によるものかの検証 ②アフターコロナを見据え、更なる交通事故を減少させるために 個々の交通事故の発生状況を検証したうえで効果的な施策の検討 2. 事実誤認が起きる可能性があるため、以下の箇所を修正願います。 (修正箇所)「令和4年度における交通安全対策」の3ページ 6) 公園緑地課 ①街区公園等の整備 の内容 (修正内容) 修正前：4箇所の都市公園（うち街区公園が3箇所）を整備し、遊び場として新たに開放しました。 修正後：開発行為による都市公園4箇所の帰属を受け、遊び場として新たに開放しました。	貴重な御意見ありがとうございます。 現在の船橋市内の交通事故発生状況につきましては、コロナ禍における人流の変化や外出自粛による影響も少なからずあるのではないかと考えられます。御指摘いただいた内容につきましては、今後の計画を推進するにあたっての参考とさせていただきます。 「6) 公園緑地課 ①街区公園等の整備の内容」につきまして、別紙2のとおり修正いたしました。
7	(団体名) 船橋市市民生活部 (氏名) 丹野 誠	・新型コロナウイルス感染症に係る社会的対応について、令和5年以降に大きな転換を迎えることとなるため、交通安全運動をはじめとした各種啓発活動についても、ポストコロナ時代に向けて、デジタルサービスを有効活用しながら、手法や頻度等について、必要な見直しを図っていただきたい。 ・新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、通勤・通学等の移動について、公共交通機関から自転車の利用へと手段を変更した方も多いため、安全で適切な自転車利用について継続的に周知を図っていただきたい。 また、今後、より多様化していく次世代モビリティに関する情報に関して、新たな制度や基準等にアンテナを高めていく必要があると考えます。	貴重な御意見ありがとうございます。 御指摘をいただきました交通安全に関する啓発活動の手法や頻度等の検討、多様化する交通手段に関する情報への対応につきましては、時代に合わせた対応ができるよう情報収集及び見直しを行ってまいります。